

とよた市議会 だより

9月市議会
定例会号
平成22年10月15日

ファイルNo.
101

足助の伝統的なまちなみを保存していきます

伝統的建造物群保存地区保存条例

より魅力のある温浴施設で観光交流人口の増加を目指します

どんぐりの湯改修工事

ピックアップ
TOPICS
トピックス



水源工区で工事中的の
新安永川トンネル

現在の安永川トンネルの様子

水害に強いまちをめざして 矢作川のはんらんによる浸水被害を解消し水害に強いまちにするため、安永川改修工事を実施しています。完成後は現在の約9倍の水が流せるようになります。今後はトンネル新設などの工事を5年間にわたって行っていく予定です。

●トップインフォメーション

- 丸わかり・早わかり議場の内側 ②
- 本会議を運営する人たちの役割 ③

●議案説明・討論

- 補正予算・工事請負契約の締結 ④

●審議結果 ⑤

●常任委員会 付託案件・陳情を審査 ⑥

市政について問う!

●一般質問 26人の議員が質問 ⑧

●トピックス 中学生が議会を傍聴、全議員研修会 ⑫



どんな場所で会議が行われているのでしょうか？

6月定例会号では市議会のしくみについてご紹介しました。豊田市議会では年4回開催される定例会などの「本会議」を市役所南庁舎にある「議場」で行います。

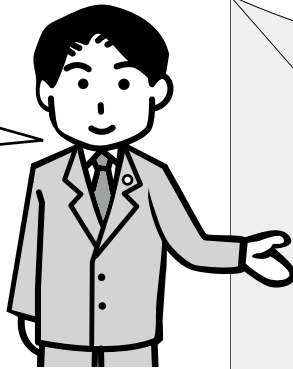
では議場とは一体どのようなところなのでしょう。今回は、あまり目にする機会のない議場の内側をご紹介します。



《傍聴席からみた本会議の様子》

丸わかり・早わかり!議場の内側

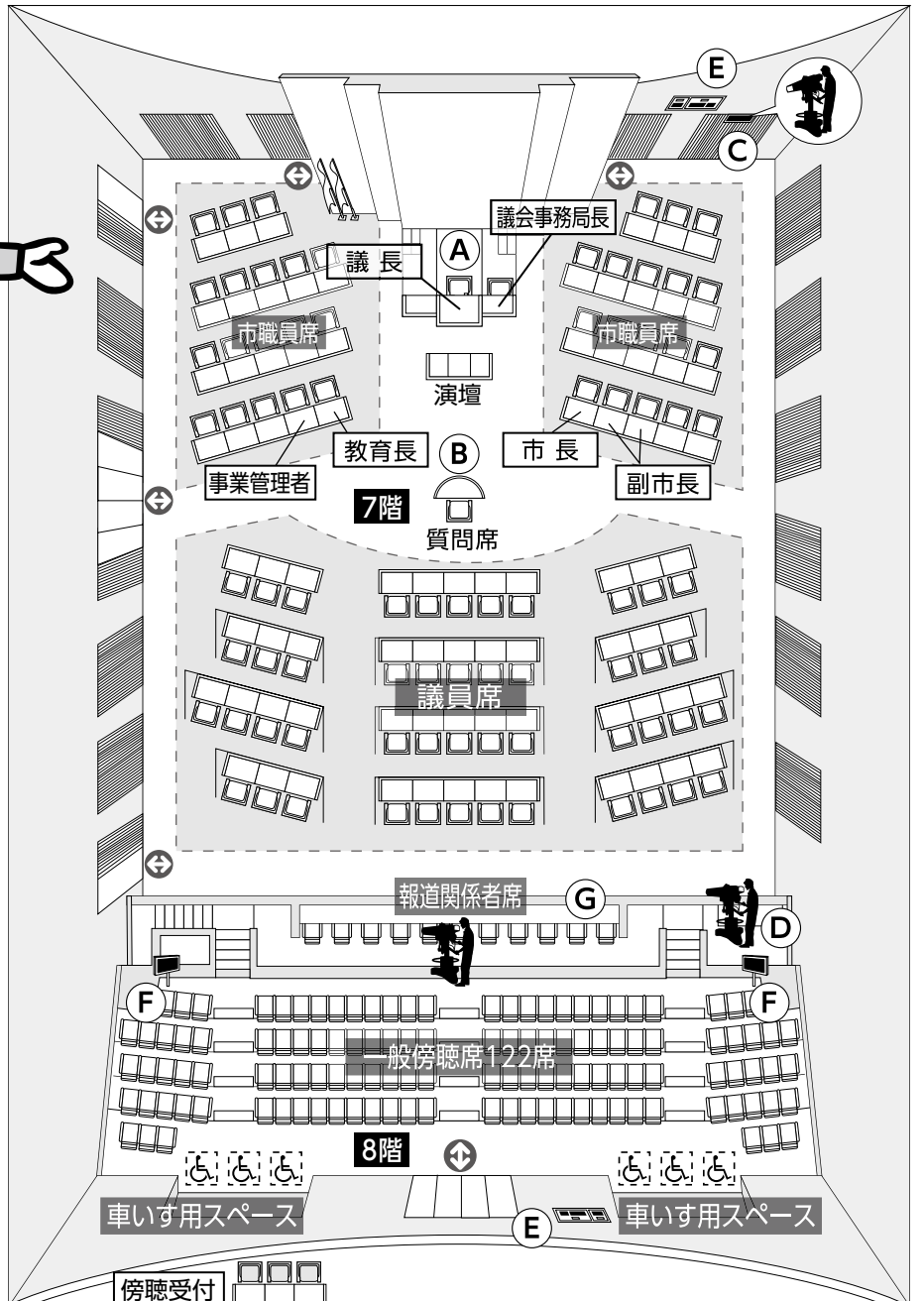
本会議は、市役所南庁舎7階の議場で行われます。傍聴ご希望の方は8階の受付にて傍聴券の交付を受ければ傍聴ができます。



本会議中、議長はこの席で本会議の進行を行います。



▲議長席から見たところ
議員が市政に関して行う質問(一般質問)や本会議に提案された議案に対する質疑(議案質疑)を行うときは、この質問席で発言します。





窓には暗幕が張られており、窓の向こう側にある部屋から本会議場で一般質問などを行う議員の表情を撮影します。



ケーブルテレビ放送局が一般質問などを放送するときに、場内に設置された3台のカメラが撮影する映像（質問者、答弁者、本会議場全体の映像）を議事進行に合わせて切り替えたり、一般質問などの音量の微調整を行っています。



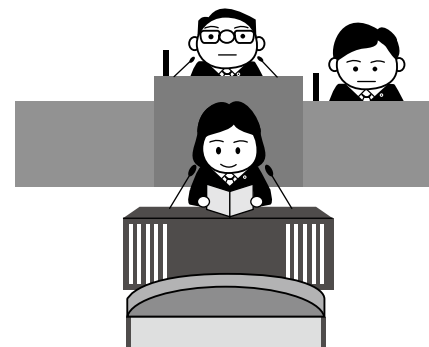
本会議に出席した議員が自席の「標柱（ひょうちゅう）」を立てると、出席している議員の人数がわかる仕組みになっています。また、一般質問などを行う議員の発言には時間制限があり、この表示盤には残りの発言時間も表示されます。



傍聴席には32インチの中継モニターが左右に2台設置されています。



報道関係者は本会議で審議されたことなどをこの席で取材します。



～本会議に出席する人たちの役割～

◆ 議 長

議長は議会の代表者とされており、議員の選挙によって選ばれます。議長は、議場の秩序を保持する権限や本会議を開会したり閉会する権限、議事を進行する権限、議員の発言を許可する権限などを持っています。

◆ 議 員

議員は本会議の構成員として出席し、市長から提案される議案やその他市政に関するさまざまな審議に参加します。本会議は議員の半数以上が出席しないと開催することができないことになっています。

◆ 議会事務局長

議長が本会議をスムーズに進行できるよう補佐します。

◆ 市 職 員

市が行う仕事は様々な分野に渡ります。そのため、本会議に提出されている議案や市政全般に対する議員からの問い（議案質疑や一般質問）に対して正しく答えるために、総務部長などの市長等が選んだ市の職員が出席し、議員からの質問に対する答弁を行います。

◆ 市 長

市政に関する議会の審議に必要な説明をするために市の代表者として本会議に出席します。市政に関するさまざまな議案を本会議に提出し、議員からの代表質問や一般質問に対する答弁を行います。

◆ 副 市 長

市政に関する議会の審議に必要な説明をするために本会議に出席します。本会議に提出する各議案の提案説明を行うほか、議員からの一般質問に対する答弁を行います。

◆ 教 育 長

教育行政に関する議会の審議に必要な説明をするために本会議に出席します。議員からの代表質問や一般質問に対する答弁を行います。

◆ 事業管理者

水道事業に関する議会の審議に必要な説明をするために本会議に出席します。議員からの一般質問に対する答弁を行います。



工事請負契約の締結、財産の取得など29議案を議決

主な案件名	内容
<p style="writing-mode: vertical-rl; position: absolute; left: -40px; top: 50px;">補正予算</p> <p>【第99号】 観光施設条例の一部改正条例</p>	<p>秋の紅葉が美しい稲武地区の大井平公園につり橋が新設されたため、所要の改正を行います。このつり橋の名称は公募により“美しい自然と綺麗な空気の賜物である稲武の風に吹かれ、風に揺られ、美しい自然の中で多くの人に過ごしてほしい”との願いから「風のつり橋」と名付けられました。なお、利用開始はもみじ祭りの時期に合わせて10月31日に予定されています。</p>
<p style="writing-mode: vertical-rl; position: absolute; left: -40px; top: 50px;">工事請負契約の締結</p> <p>【第113号】 一級河川安永川トンネル 新設工事(平和・秋葉工区)</p>	<p>現在の安永川のトンネル部は、2年に1回程度降るといわれる大雨(37.2mm/1時間あたり)を排水する能力しかなく、10年に1回程度といわれる大雨(63.0mm/1時間あたり)が降った場合、雨水の排水が間に合わず、安永川流域の広い範囲で浸水被害が発生してしまいます。これらの浸水被害を解消するため、約2kmに渡り排水用の新しいトンネルをつくり、浸水被害のない住みよいまちづくりを目指します。</p>

討 論

諸 派 大 村 義 則

議案第105号は、平成23年度事業開始予定であった保育ママ事業を前倒しで開始するための840万円の増額補正が組まれており、待機児童解消の緊急の対応としては必要な補正と認める。しかし、待機児童解消のための本筋の施策は保育施設の増設であり、その中心に公的保育を位置づけるべきであることを強く申し上げ、賛成。

承認第4号は、市内中小零細企業の多くが赤字を抱える状況の中、市は産業立地の補助金を10年間で66億円出してきたが、市内の大企業とその関連企業だけで7割を占める金額を支出していたことが分かった。トヨタ自動車のテストコース開発についても、平成21年度だけで13名の専任職員を配置し、その人件費は1億3300万円であった。政治と行政が直接税金まで投入して応援する必要があるのかを申し上げ、反対。

自民クラブ 近藤光良

議案第113号は、豊田市の中心部は江戸時代以来何度も豪雨による水害を被ってきており、この被害をなくすことが長年の悲願であった。総合評価方式の採用により、掘削機械の変更提案がされ、工期を短縮できるなど、この方式のメリットも生かされた。この工事が順調に完了すれば、今後の中心市街地の整備にとって大きな効果をもたらすものと確信し、賛成。

承認第4号は、厳しい財政状況のなか、市内経済の活性化、雇用の安定、道路や公共交通

本会議最終日に各委員会審査の委員長報告を受けて、各党派等が賛成、反対の意見を述べ、賛同を求めました。 ※発言順に記載

市民フォーラム 樹神義和

など社会資本の整備を着実に実行してきたことを評価する。税収の減少により悪化した指数があるものの、豊田市版プライマリーバランスを維持し、財政健全化法に定められている4つの健全化判断比率も良好な状況となっており、多方面にわたる財政運営の努力を評価し、賛成。

議案第102号は、現在無料の四郷駅前駐車場では、目的外利用や迷惑駐車などにより、駐車場として有効に利用できない等の苦情が発生しており、末野原駅前駐車場を含めた有料化を通じて、適正管理と利便性の向上を図ることを確認した。今後は、環境リーディング都市を目指す本市として、さらなる駐車場の整備・適正管理により、公共交通機関の利便性向上を期待し、賛成。

議案第110号・111号・114号は、市内本業者の参入拡大という視点から、保健センター工事全体を10件に分割発注するとともに、総合評価方式により市内経済の活性化として約2億5千万円の経済効果が期待できることを確認した。今後においても、市内業者の参入拡大・工事従事者の労働条件の確保の観点から、発注方法の見直しや総合評価方式の更なる精査を期待し、賛成。

公明党 小島政直

議案第96号は、文化庁が選定している保存地区に愛知県で初めて選定されることで本市の価値を高め、さらなる発展につながることを、地域自らが地域の未来のために考え、行動を起こし、市として「保存地区」の選定を目指

すものであること、将来にわたってまちなみが生かされていけば、まちの活性化が図られ、現時点では思いもよらない効果が期待できることなどを評価し、賛成。

議案第123号は、行政と地域住民等との「共働によるまちづくり」の中で、地域の現状や特性、地域住民のニーズ等、新たな課題や顕在化した課題を踏まえ、「自然環境の保全・活用」「交流機会の拡大」「定住・交流人口の確保」「産業の振興」「生活機能の維持・確保」といった視点を重視して、その実現に向け、効果的に必要な施策展開が図られていくと評価し、賛成。

諸 派 岡田耕一

議案第96号は、香嵐渓という財産とともに重要伝統的建造物群保存地区のまちなみという2つの魅力の相乗効果による観光客の増加、まちの活性化、歴史と伝統の継承などの効果が期待される。一方で、さらに観光客が来訪し、交通渋滞や交通事故が増加したり、あまりに観光地化しすぎて足助らしさがなくなってしまうのではないかと危惧する。それらの心配が杞憂に終わるよう、しっかりと準備、対応することを期待し、賛成。

議案第112号は、リニューアル工事によって、どんぐりの湯の新たな魅力に市民の満足度が向上することを期待する。また、稲武地区全体への経済効果、その他波及効果を期待するとともに、近隣温泉旅館等の営業を圧迫することなく、共存共栄がはかれる工夫も必要だと考える。今後の民間施設との連携と稲武地区の活性化を期待し、賛成。



審議結果

～とよた市議会だより～ 平成22年

9月
定例会号

※議案名など一部省略して記載しています

9月市議会定例会に提出された案件	結果	会派別賛否																	
		自民クラブ 30名(議長除)		市民フォーラム 10名		公明党 3名		諸派 4名											
		賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対										
◆議案																			
第96号	伝統的建造物群保存地区保存条例	原案可決	29	0	10	0	3	0	4	0									
97	市立保育所条例の一部改正条例	//	29	0	10	0	3	0	4	0									
98	国民健康保険条例の一部改正条例	//	29	0	10	0	3	0	4	0									
99	観光施設条例の一部改正条例	//	29	0	10	0	3	0	4	0									
100	都市公園条例の一部改正条例	//	29	0	10	0	3	0	4	0									
101	都市公園使用料及び利用料金条例の一部改正条例	//	29	0	10	0	3	0	4	0									
102	有料駐車場条例の一部改正条例	//	29	0	10	0	3	0	4	0									
103	消防団員等公務災害補償条例の一部改正条例	//	29	0	10	0	3	0	4	0									
104	火災予防条例の一部改正条例	//	29	0	10	0	3	0	4	0									
105	平成22年度一般会計補正予算	//	29	0	10	0	3	0	4	0									
106	// 分譲住宅建設事業特別会計補正予算	//	29	0	10	0	3	0	4	0									
107	// 公共下水道事業特別会計補正予算	//	29	0	10	0	3	0	1	3									
108	// 老人保健特別会計補正予算	//	29	0	10	0	3	0	4	0									
109	// 農業集落排水事業特別会計補正予算	//	29	0	10	0	3	0	1	3									
110	工事請負契約の締結(〔仮称〕市中央保健センター電気設備工事)	//	29	0	10	0	3	0	4	0									
111	// (〔仮称〕市中央保健センター空調設備工事)	//	29	0	10	0	3	0	4	0									
112	// (どんぐりの湯改修工事)	//	29	0	10	0	3	0	4	0									
113	// (一級河川安永川トンネル新設工事[平和・秋葉工区])	//	29	0	10	0	3	0	4	0									
114	工事請負契約の変更(〔仮称〕市総合体育館サブホール・市武道館建設工事)	//	29	0	10	0	3	0	4	0									
115	財産の取得(給食用強化磁器製食器)	//	29	0	10	0	3	0	4	0									
116	// (市民文化会館大ホール客席椅子)	//	29	0	10	0	3	0	4	0									
117	// (小型動力ポンプ付積載車)	//	29	0	10	0	3	0	4	0									
118	// (消防ポンプ自動車)	//	29	0	10	0	3	0	4	0									
119	指定管理者の指定(市総合体育館[第2競技場に限る。])	//	29	0	10	0	3	0	4	0									
120	// (市武道館)	//	29	0	10	0	3	0	4	0									
121	都市公園予定区域の決定(宮上南公園)	//	29	0	10	0	3	0	4	0									
122	市道の認定(7路線/3,442.0m)	//	29	0	10	0	3	0	4	0									
123	過疎地域自立促進計画の策定	//	29	0	10	0	3	0	4	0									
124	工事請負契約の締結(〔仮称〕市中央保健センター給排水衛生設備工事)	//	29	0	10	0	3	0	4	0									
◆同意																			
第7号	教育委員会委員の選任(再任:小澤里美氏、新任:笠井保弘氏)	同意	29	0	10	0	3	0	3	1									
◆報告																			
第8号	専決処分の報告(損害賠償額の決定7件、工事請負契約の変更3件)																		
9	平成21年度決算に係る健全化判断比率及び資金不足比率の報告																		
10	専決処分の報告(訴えの提起1件)																		
◆陳情																			
第6号	30人以下学級の実現と義務教育費国庫負担制度拡充を求める陳情書																		
7	国の私学助成の拡充に関する意見書の提出を求める陳情書																		
8	県の私学助成の拡充に関する意見書の提出を求める陳情書																		
◆議員提出意見書																			
第3号	35人以下学級の計画的実現と公立学校施設整備費国庫負担金の財源確保を求める意見書	原案可決	29	0	10	0	3	0	4	0									

承認案件

平成21年度決算状況の審査を行いました。16件の一般・特別・企業会計決算が承認案件として提出され、審査の結果、一部案件(※)を除き、全会一致で妥当と認められました。

第4号	平成21年度 一般会計決算	10	平成21年度 卸売市場特別会計決算	16	平成21年度 財産区特別会計決算
5	// 国民健康保険特別会計決算	11	// 老人保健特別会計決算	17	// 簡易水道事業特別会計決算
6	// 食肉センター特別会計決算	12	// 農業集落排水事業特別会計決算	18	// 後期高齢者医療特別会計決算
7	// 都市計画事業土地区画整理特別会計決算	13	// 水道水源保全事業特別会計決算	19	// 水道事業会計決算
8	// 分譲住宅建設事業特別会計決算	14	// 母子費福祉資金貸付事業特別会計決算		
9	// 公共下水道事業特別会計決算	15	// 介護保険事業特別会計決算		

※第4号、第5号、第15号、第18号に
いずれも3人の反対がありました。



9月8日及び27日の本会議で委員会に付託された案件の審査を、6つの常任委員会で審査しました。
委員会の審査内容を、主な質問と答弁に要約して紹介します。

産業建設 委員会

9月14日、付託された7議案を審査し、議案のすべてを全会一致で承認しました。

【第99号】 豊田市観光施設条例の一部を改正する条例

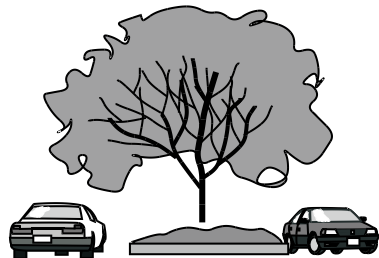
質問 地域の方や稲武に来られた方への利活用はどのように考えているのか。

答弁 まちなか大井平公園の回遊性が向上し、誘客性が増すことから、もみじまつり会場やウォーキングコースの起点として利用するほか、最近、名倉川でホテルが見られるようになったことから、ホテル鑑賞会など、景観と親水性を生かした利用を検討していく。

【第102号】 豊田市有料駐車場条例の一部を改正する条例

質問 四郷駅駐車場については、マレットゴルフ場とリサイクルステーションが併設されているが、パークアンドライド利用者が駐車しようとしたときに、既に満車になっていた場合の対策はとられているのか。また、駐車場の奥にあるリサイクルステーションを利用する市民は、駐車場が満車の場合どうするのか。

答弁 パークアンドライドの利用者は定期券を購入する方が多いと考えられる。今回導入する自動料金機は入庫台数を管理することができるため、定期券利用者の駐車台数は確実に確保できるようにしている。また、リサイクルステーション利用者については、駐車場が満車でゲートが閉まっても、インターホンによりリサイクルステーションの利用が可能である。



環境福祉 委員会

9月15日、付託された1議案を審査し、全会一致で承認しました。

【第98号】 豊田市国民健康保険条例の一部を改正する条例

質問 今回の条例改正によって、本市の国民健康保険事業に何か影響が出るのか。

答弁 今回の改正は、条例が引用している国民健康保険法の条項が変更されたことによる改正なので、影響はない。

教育次世代 委員会

9月16日、付託された7議案を審査し、議案のすべてを全会一致で承認しました。他に陳情3件を報告しました。

【第96号】 豊田市伝統的建造物群保存地区保存条例

質問 伝統的建造物の候補となる空き家は15戸あり、今後は所有者に対して空き家の活用の働きかけを促進するというのだが、所有者は明確になっているのか。また建物の老朽化が進むなどの問題について、どのように取り組んでいくのか。

答弁 所有者については確認ができています。空き家対策の具体的な取り組みについては、所有者に対し、伝統的建造物の決定に同意していただけるよう、積極的に働きかけをしていくことと併せて、足助支所が地元と共働で進めている、空き家所有者と定住希望者のマッチング事業である『あすけ住暮楽夢プラン』や足助の暮らしを体験し、地域住民を知り、地域に魅力を感じた方を定住につなげる足助定住体験住宅事業などの利用を所有者に提案し、空き家となっている建物の利活用の促進に努めていく。特に、中馬街道沿いの空き家については、歴史的な町並みの保存を図るうえで、重要性が高いため、これらの働きかけを重点的に進めていく。

【第116号】 財産の取得 豊田市民文化会館大ホール客席椅子

質問 今回の椅子の購入により、客席数が170席減ることになるが、客席数が減少することによるメリットはなにか。また利用者への影響については、どのように考えているか。

答弁 昭和56年の開館から29年が経過し、客席椅子の劣化が進んでいるため、更新を行うものである。これによるメリットは、客席の座席幅や前後の座席間がこれまでより広がるため、より快適な環境となることである。また、170席減ることによる影響については、過去5年間の利用状況を調査した結果、大ホールにおける市民主催の催し物において、更新後の座席数を超える観客が入場したのはわずかであったことから、市民への影響は少ないと考えている。

生活社会 委員会

9月17日、付託された5議案を審査し、全会一致で承認しました。

【第112号】 工事請負契約の締結（どんぐりの湯改修工事）

質問 今回のリニューアルの特徴はなにか。またどんぐりの里からまちなかへの誘導策等を考えているか。

答弁 これまで利用率の低かったクアゾーンを浴室に改修し、利用者アンケートで露天風呂が小さいことへの不満が多かったため、露天風呂を新設する。また各種サウナを整備し、魅力アップを図りたい。また、10月には大井平公園に吊り橋が完成するため、大井平公園からどんぐりの里いなぶまでの1.3kmの回遊性を高めたい。あわせて、県事業による大井平公園から古橋懐古館を結ぶ農業用水路の改修で、遊歩道整備も行われるため、これによっても回遊性が高められると考えている。





委員会

企画総務 委員会

9月21日及び27日、付託された4議案を審査し、議案のすべてを全会一致で承認しました。

【第110号】 工事請負契約の締結
(仮称：豊田市中心保健センター電気設備工事)

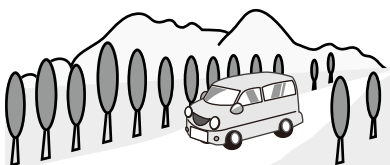
質問 照明設備については、消費電力が少ない省エネタイプを導入されると思うが、現在の南庁舎と比べ、どれほど省エネになっているか。

答弁 (仮称)豊田市中心保健センターの年間電力消費量は、146万8,000キロワットと想定している。既存の南庁舎と比較すると、中央保健センターについては、平方メートル当たり2,353円、南庁舎については平方メートル当たり2,831円の電力料金ということで、約17パーセントの電力が節減できると見込んでいる。

【第123号】 豊田市過疎地域自立促進計画の策定

質問 地域間交流促進のため、地域拠点を結ぶ道路を整備し、将来的にはバスが通れるような道路にするというような改良はできないか。

答弁 地域間を結ぶ道路の整備については、本市が目指す都市構造である多核ネットワーク型都市の形成においてもきわめて重要であり、市道については、小原地区と旭地区を結ぶ市道小原大草足助線ほか2路線の整備を計画的に進めていく。また、県道足助下山線は、愛知県が事業主体であるため市の過疎計画には載せていないが、県の計画には掲載される予定であると伺っており、引き続き整備促進を強く働きかけていく。



予算決算 委員会

9月9日から24日にかけて、付託された補正予算5議案と決算案件16件を審査し、すべての案件を承認及び認定しました。

【第105号】 平成22年度
豊田市一般会計補正予算

質問 次世代自動車普及促進費補助金の補正により、補助枠は十分確保できるのか。

答弁 国のエコカー補助金が終了したこともあり、今後の推移を予測することは難しいが、毎月、市内のすべての自動車ディーラーに受注状況の調査を行い、今年度末までに3,000台分の補助申請があると見込んだ。

質問 保育ママ事業の方向性についてどう考えているのか。

答弁 今後の方向性としては、当該事業の利用状況、利用者のニーズ等を検討し、必要に応じて、実施施設の拡大あるいは保育ママの自宅で保育する『個人実施型』の事業への転換を検討していきたいと考えている。また、現在実施している保育ママ養成講座には、子育て支援に大変熱意をお持ちの方々が参加されており、将来的には、保育ママ事業の枠を超えて、こうした方々との共働による子育て支援策についても検討していきたいと考えている。

【承認第4号】 平成21年度
豊田市一般会計決算

とよた子育て 総合支援センター費

質問 昨年度は利用者アンケートを実施し、多くの利用者が満足しているとの高い評価を受けたと聞いたが、子育て支援施設のアンケート結果を生かした今後の運営方法についての考えはどうか。

答弁

アンケートの結果では、大変多くの方から満足という回答をいただいている反面、少数だが、満足ではなかったという回答もあるため、改善できるところは改善していきたい。また、子育て支援施設を訪れる保護者のニーズや社会情勢も年々変化し、多様化してきているため、アンケートを継続実施し、今後の変化に敏感に対応していくことが必要であると考えている。なお、廃園した柳川瀬こども園の園舎を活用した子どもつどいの広場の整備を実施し、市内2番目の単独型子育て支援施設として平成24年度にオープンさせたいと考えている。



学校建設費 施設整備費

質問

緑のカーテン設置事業の実施における学校側の評価はどうか。また今後の取組方針についてどう考えているのか。

答弁

モデル校の児童・生徒へのアンケートの結果、約8割が「涼しくなった」と回答し、教員へのアンケートでは、約7割が「暑さ対策よりも環境教育としての効果が高い」と回答した。問題点としては「部屋が暗くなる、世話をするのが大変、虫が多く発生する」などの意見が多くあった。暑さ対策として一定の効果がみられ、環境教育の面など暑さ対策以外の効果も期待できることがわかったが、その反面、管理面の課題も明らかとなった。今後は、環境教育への活用や地域との共働に力点を置き、希望する学校には積極的に進めていきたいと考えている。



9月6日から8日にかけて、26人の議員が市政の方針や考え方などについて聞く「一般質問」を行いました。その質問と答弁の一部を要約して掲載します。詳細については市議会ホームページ内の録画映像か、市役所市政情報コーナー（南庁舎1階）、中央図書館、コミュニティセンター、地区交流館に配布する12月下旬発行予定の会議録をご覧ください。

都築 繁雄

自民クラブ

- 豊田地域医療センターの再整備の方針
- 教育環境の充実

質問 専門スタッフを交えた「移転プロジェクト」を

市民の生命・健康に直結する一次救急診療機能について、先の定例会で、再整備の取扱いは市で機能や規模等を整理し、今年度中を目標に議会へも相談したいと答弁されたが、整理にあたっては医療スタッフを交えた「移転プロジェクト」を立ち上げるべきと考えるが、いかがか。

答弁 市長

幅広い検討は必要であり、医師会や、医療の専門家の方々と検討組織を立ち上げることが必要になると考えている。今年度中の検討経過を見て、その方向性を3月頃決定したい。幅広く市民の意見を聞き、移転、建替えなどの可能性を精査していきたい。

天野 弘治

自民クラブ

- 保健・福祉行政のあり方
- 今後の地域自治のあり方

質問 地域住民合意のもとでの地域自治システムの活用

地域自治システムの活用で一定の権限が地域会議に与えられているが、地域の地域会議だけで決定されている向きもあると聞いている。地域自治システムの活用は、地域住民の合意のもとで進められるべきではないか。

答弁 社会部

地域自治システムの効果を発揮させるための最大のポイントは地域住民の合意形成にあり、それにあたっては開かれた場での意見交換会を実施することと、事業計画の地域住民への周知を義務づけている。しかし、まだ地域自治システムの認知度が十分ではないため、今後は制度の周知はもちろんのこと、市内全域の横展開を図ることで地域予算提案事業の効果をさらに高めていきたい。

鎌田 ひとみ

公明党

- 福祉と医療の取組

質問 高齢者の個人情報管理と今後の見守り体制

高齢者の死亡届や年金、医療保険等、各種個人情報の共有化、管理体制と担当部署間の連携はどのようか。また、薄れゆく地域や家族とのつながりをどう補完す

るのか、今後の見守り体制について市の考えは。

答弁 福祉保健部

市民課へ死亡届が提出され受理されると住民オンラインに反映されるため、届出に基づく各課への反映漏れはない仕組みになっている。ただし、情報が届け出されない住民オンラインに反映されないため、今後は業務で知り得た情報のうち住民登録に関するものについては、市民課に適宜情報提供する連携体制を整える。

高齢者の見守りについては民生委員や地域包括支援センターが中心となり行っているほか、「豊田市ささえあいネット」などの事業を展開しており、今後も地域による見守りや支え合いの体制づくりを推進していく。

鈴木 規安

自民クラブ

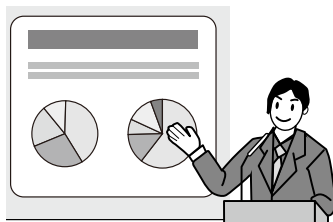
- 「将来を見据えた豊田力の充実」

質問 地域力をつけるための地域会議や都市内分権と共働

地域会議・わくわく事業の市民への浸透度・現状についてと、地域自治システムの現状ならびに今後の進め方はどのようか。また、地域力をつけるためには官民一体となった「共働」の活動が重要だと考えるが、市の考えは。

答弁 社会部

わくわく事業はのべ1,168団体に支援し、多様な担い手を生み出してきた。地域会議だよりの発行によるPR活動などにより多くの市民に浸透してきたが、まだ十分とは言えないと認識している。地域自治システムが本格運用して2年目であり、今後も地域会議と共にシステム定着に向けて着実に実践することにより、地域力の向上を図る。共働の精神の中で、地域住民が地域課題に対してどうすべきかの意識を持つことが必要であり、この意識を持ちながら活動することで地域力は向上すると考える。



杉浦 昇

自民クラブ

- 「行財政運営検討特別委員会」の提言を受けて
- (財)豊田加茂環境整備公社の赤字への対応

質問 (財)豊田加茂環境整備公社の経営管理計画の妥当性

28億円の赤字を見込んでいた財団法人豊田加茂環境整備公社の経営管理計画に関し、その妥当性についてどのように考えているか。

答弁 産業部

同公社の資金不足については循環型社会への転換が進み産業廃棄物の最終処分量が大幅に減少し、運営期間が当初計画の約4倍に延びたことが主な原因と見ている。公社の経営管理計画には受け入れ量の拡大や受け入れ単価の値上げといった経営努力も見込まれており、その上での資金不足はやむを得ないと考える。加えて、地元産業界の安定的な事業活動の支援と地域の安心・安全の確保といった公社の役割からも事業の継続は妥当である。

岡田 耕一

諸派

- 携帯電話等中継基地局設置等に関する条例の制定
- 市民税、国民健康保険税などの税額更正時の問題

質問 携帯電話等の中継基地局設置等に関する市の考え

携帯電話等の中継基地局設置等に関して、電磁波による健康被害の危惧や景観上の問題等で全国各地で紛争が発生している。紛争を未然に防ぐための本市における条例制定の考えは。また、携帯電話基地局の設置に関するガイドライン、要綱等を設定する考えはあるか。

答弁 総務部

条例は、市の実情を踏まえ、行政課題を解決する為の手段として制定することが望ましい。実際に紛争が発生する前に条例を制定すべきという考え方もあると思うが、直ちに条例を制定するという考えはない。景観条例を始めとする個々の所管事務において、その必要性が生じた時にさだめているため、現段階において直ちにガイドライン、要綱を制定する必要はないと考えている。

山内 健二

市民フォーラム

- 地域主権に向けた庁内体制づくり
- 生活排水処理対策

質問 地域主権に向けた職員の資質向上への取組について

地域主権に向けた庁内体制づくりについて、職員の意識改革及び能力向上に向けた取組を現在どのように行い、今後どの



※質問順に掲載しています。

※正式な会派名/自民クラブ：豊田市議会自民クラブ議員団 市民フォーラム：豊田市議会市民フォーラム
公明党：公明党豊田市議団 諸派：会派所属無

一般質問

ように進めていくのか。また、職員の専門知識習得に向けた取組と外部講師による研修の取組について、市の考えは。

答 弁 総務部

管理職階層にはマネジメント研修などを導入するとともに、若手職員には次世代リーダー研修を通じて課題発見力や状況変化を想定した対応力等の能力向上に取り組んでいる。女性職員に向けては、昨年度から自治大学校への短期派遣研修を導入しており、今年度、女性職員の育成に向けた計画を策定する予定。

職員の専門知識習得に向けては、部局研修や職場研修等を通じて所属の専門分野に関する知識等の向上を図っている。外部講師による研修については、NPO団体等を訪問するパートナーシップ研修のほか、平成21年度には2名の職員を民間コンサルティング会社へ派遣した。

山田和之 自民クラブ

- 合併処理浄化槽の整備促進
- ナラ枯れのその後

質 問 本市におけるナラ枯れ防除

ナラ類などが集団で枯死する被害「ナラ枯れ」の増加は、カシノナガキクイムシの繁殖に適した環境の増加と枯死木放置が原因と言われている。ナラ枯れ防除に対する市の考えは。

答 弁 環境部

本市では、ナラ枯れに対しての具体的な対策はとっていない。しかし、公共施設などで、どうしても枯れては困る木については予防措置が必要であるが、効果が不確かなので慎重な検討を要する。また、公園や建物周辺など、被害木の枝が落ちたり、倒れる恐れがあるなど危険な場合は、所有者・管理者の責任で伐採処理することとしている。

加藤昭孝 自民クラブ

- アセット・マネジメントの推進

質 問 公共施設の適正な維持管理における今後の方針

これまでのように公共施設の維持管理を各部局ごとに管理していたのでは効率が悪いことは明らかだ。施設を管理する上での一元化についてはどう考えるか。また、必要な財源の確保について、市の考えは。

答 弁 総合企画部 総務部

各分野の取組は、平成22年3月に策定した「まちづくり基本条例戦略プラン」の行動計画に位置づけ、全庁的に取組むという

方針を明らかにしている。今後、進行管理を行う中で、課題と対応方法を検討し、各分野との連携を図っていく。また、それぞれの取組は、事業規模や内容等によって実践計画事業に位置づけられることから、ローリングによる見直しを経て、予算査定につなげていくことで、限られた資源の中で、より効果的な事業の展開を図っていく。

今後、公共施設等の適正な維持管理や延命化には、多額の経費がかかることが想定される。実践計画のローリングと歩調を合わせ、必要な財源の確保に努めていく。

三江弘海 自民クラブ

- 豊田市「新」産業振興策の策定
- 簡易水道事業

質 問 バランスの取れた産業構造への転換を

本市の産業は、歴史あるものづくり精神の上に築かれており、様々な経済情勢にもいち早く対応できる土壌が備わっている。この土壌は、環境産業の進展や儲かる農業を可能にさせる土壌でもあると考える。これらのことから、バランスの取れた産業構造への転換を真剣に考え、見える形で現すことこそが新産業振興策だと考えるがいかがか。

答 弁 産業部

自動車産業とともに発展してきた本市の歴史を考えると自動車産業から大きくかけはなれた分野への転換は考えにくく、まずは既存の資源を活かした産業構造をめざすことが有効な方向ではないかと考える。しかし持続可能な地域づくりのためには、森林や農業を含めた環境産業などの展開も重要な視点と考え、今後の産業振興委員会においても大きな論点の一つとして議論していく。

大村義則 諸派

- 中心市街地再開発の検証と今後のあり方
- 環境モデル都市のシンボルを中山間地にも

質 問 駅前通り北地区再開発の税金投入の考え方

駅前通り北地区再開発の事業計画案について、税金投入の考え方と市としてのスタンスについて確認する。

答 弁 都市整備部

再開発事業においては、再開発ビルの整備による都市防災機能の強化や、道路など公共施設の整備による快適な歩行者空間の確保がされることから、国、県、市とも

補助要綱を制定し、再開発事業を支援している。北地区の再開発事業においても、これらの事業効果が期待できることから、国や県の補助金をはじめ、本市においても、これまで同様再開発事業に対して適正に補助金を交付し、支援をしていく。

梅村進 自民クラブ

- 藤沢小学校統廃合の総括
- 安心・安全なまちづくり推進

質 問 名鉄三河線レールバス跡地「でんしゃみち整備計画」

名鉄三河線レールバス跡地の活用については「でんしゃみち整備計画」としてサイクリングロードや散策路としての整備が提案されており、できるだけ早期に実現してほしいと考えているが、今後の事業推進に向けた取組みについてはどのようなか。

答 弁 社会部

「でんしゃみち整備計画」のうち駅跡地周辺など地域の活動拠点として活用できるところから、地域住民との共働により、整備・活用を進めている。三河線跡地の全線を利用したサイクリングロード及び遊歩道の整備に関しては、事業の位置づけや事業手法、また鉄橋の橋脚補強やトンネル補修など課題も多く、調査・検討の段階である。引き続き、第7次総合計画後期実践計画の策定に向けて、さらに事業の具体化を図るべく検討を進めていく。

桜井秀樹 市民フォーラム

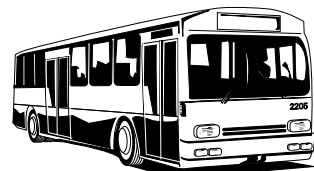
- 公共バスの利用促進

質 問 高齢者等への時間帯割引や地域バスの昼間割引導入を

通勤、通学で混雑する早朝にバスを利用している高齢者等に対して、早朝の少しあとに時間帯割引を設定することで、乗りこぼし解消の一助につながると考えるがいかがか。また、地域バスの昼間時間の利用促進としても昼間の時間帯割引を設けることを提言するが、市の考えは。

答 弁 都市整備部

現在、昼間及び休日の利用者増等を目的に、基幹バスと毎日運行している地域バスで、全ての利用者を対象に、平日昼間、土曜日、日曜日、休日の運賃割引を検討しており、来年度から導入したいと考えている。





※質問順に掲載しています。

※正式な会派名/自民クラブ：豊田市議会自民クラブ議員団 市民フォーラム：豊田市議会市民フォーラム 公明党：公明党豊田市議員団

安藤 康弘 市民フォーラム

●豊田市の医療提供体制

質問 医療提供体制を維持・確保するための課題

本市の医療提供体制が、他の医療圏と比較して整備されていることは高く評価すべきことである。今後も市民が生涯を通じ安心して生活するために、現状の医療提供体制を維持・確保することについて、市の考えは。

答弁 福祉保健部

本市が医療提供体制を維持するうえで課題と捉えていることは、命を守る救急医療の堅持、容易に医療機関を利用できない地域の医療（へき地医療）の確保、今後の高齢化に対応する慢性期への対応、の3点である。なお、現在の医療資源を有効に活用するために、医療機関の機能分担及び連携の促進、あるいは市民の医療機関の適正利用促進に取り組むことも、重要だと考えている。

庄司 章 市民フォーラム

●住民基本台帳カードの利活用

質問 コンビニエンスストアでの利用

現在本市においては住基カードを使用した独自の施策が無いのが現状である。住基カードの利用拡大を図り利便性を高めるべきであると考えている。その一環として、コンビニエンスストアを利用した住民票の写しなどの発行について、市の考えは。

答弁 市民部

本市におけるコンビニエンスストアによる自動交付サービスの導入については、システムの設備費用や運用経費等の費用も発生するため、これらの課題を踏まえた上で、先進自治体の利用状況も参考に、検討を進めていきたいと考えている。

加藤 和男 自民クラブ

●児童虐待
●犯罪のないまちづくりの推進

質問 警察力の強化

人口の増大や社会状況の多様化、犯罪の増加などで、地域の警察官による巡回・見回りも難しくなっている。そのような状況だからこそ、本市としても、警察力の強化のために、愛知県、県警への積極的な働きかけが必要だと思われるがい

かがか。また、豊田市区長会が豊田警察署の建て替えを要望する署名活動を全市的に展開すると聞いているが、それについてどう受け止めているか。

答弁 社会部

豊田警察署は本市（足助警察署所管内を除く。）及びみよし市を合わせた約46万人の人口と約462km²の広大な区域を管轄している。犯罪や交通事故が多発する中で、警察官一人当たりの負担人口は1,200人を超え、県平均の542人に比べ倍以上となっている。現在の豊田警察署は、昭和44年に建設され老朽化などが著しく、警察力強化への障害となっている。今回の署名活動は市民の切なる願いと受け止め、市としても大変ありがたい活動と認識している。

湯本 芳平 市民フォーラム

●低炭素都市構築実証プロジェクトマスタープラン
●産業の活性化に向けた取組

質問 実証プロジェクトと交通まちづくり

本市は、経産省から次世代エネルギー実証地域として認定され、地方都市型低炭素社会システムの構築を目指しているが、その根幹を成すものとして期待される「低炭素交通システム」について、今回の実証プロジェクトを活かした「交通まちづくり」の取組を、どう加速・進化させていくのか、市の考えは。

答弁 副市長

本市では、平成16年に、「豊田市交通まちづくりビジョン2025」を策定し、人と環境に優しい先進的な「交通まちづくり」に取組んでいる。今後は、燃料電池バスのバス路線への導入やプラグインハイブリッド車の市民利用、パーソナルモビリティの実証実験等を市民や企業、関係行政機関と共働して推進し、「くるまのまち とよた」ならではの活力ある低炭素社会の構築と交通まちづくり関連事業の加速化を図っていく。

加茂 みきお 自民クラブ

●森林整備と地域材の加工・流通・消費

質問 団地化と境界確定の推進

団地化、路網整備、間伐を行っている森林組合を支援する仕組みには限界があることから、本市行政が全国に先駆けて本格的に森林整備に乗り出してはと考える。森林組合の測量と平行して、市の発注で、公共囑託登記土地家屋調査士協会へ

委託するなど、境界確定を促進できないか。また、そのための予算措置はできないか。

答弁 産業部

団地化事業の拡大を図るため、測量業務の一部を外注することを視野に入れ、本年度予算を確保した。現在、業務発注に向けて、その手法の検討と調整を行っている。



田中 鋭司 自民クラブ

●中核市から政令指定都市の移行
●次世代を担う「人づくり」
●鳥獣被害に対する取組

質問 ヨコミネ方式保育のカリキュラム導入の可能性

ヨコミネ式保育は、子どもたちの持つ能力や可能性を大きく引き出して、着実に成果を上げる取組として注目されている。本市の幼児教育におけるヨコミネ式保育のカリキュラム導入の可能性について、市の考えは。

答弁 子ども部

ヨコミネ方式の保育内容は、非常に特色あるもので、例えば、キャッチフレーズのひとつである「子どもは競争したがる」では、競い合いの中で子どもが成長するとしている。それに対し、本市は従来から個々の子どもの発達に応じたきめ細やかな保育により、自主性、社会性、協調性などを育てることを主眼にしている。これらのことから、本市の公立のこども園でヨコミネ方式を導入することは難しいと考える。

山野辺 秋夫 市民フォーラム

●民生部門における低炭素社会の推進

質問 エコポイント制度の課題解決と23年度の運用の方向性

本市で実施されている「とよたエコポイント制度」について、現在までの課題と来年度の運用の方向性についてどのように考えているか。

答弁 環境部

ポイントを集めるメニューとして、多くの市民が利用しているリサイクルステーションでの発行も検討し、発行するポイント数を増やすことで魅力が増し、市民が集めたいくなる



一般質問

諸 派：会派所属無

ような仕組みにしていきたいと考えている。平成23年度の方向性としては、市民が楽しく集めることができ、貯めたポイントを楽しむ簡単に利用できるようにし、一人でも多くの市民の環境配慮行動につなげたい。

清水元久 自民クラブ

- 有害鳥獣駆除
- 農山村振興に関する取組の進捗状況

質問 若者が振り向く魅力ある定住施策の展開を

山間地域の活力を維持していくには若い人たちの定住が不可欠であり、若者の心を動かすような施策展開が必要と考える。それによって、こども園や学校等の維持、地域の活力など多方面にその効果が期待される。また、このことは少子高齢化が極度に進展する過疎地域において待たなしの課題であるが、市の見解は。

答 弁 都市整備部

本年度設置した「農山村振興調整会議」のなかで、関連部局と連携を図りながら、魅力ある新たな施策や事業について検討及び推進をしている。若者世帯を意識した施策として、低家賃で魅力ある市営住宅の新規建設を検討している。今後、需要の増加が見込める場合には、支所との連携により、地域の実情に合った住宅の整備を進める。また、宅地の分譲については、小原地区において、今年度中に造成工事を実施し、来年度の販売に向けて準備していく。

岩月幸雄 自民クラブ

- 自転車都市への課題

質問 低炭素社会構築における自転車の位置づけ

これまで自動車を使っていた移動を自転車に置き換えることは、低炭素社会を構築する上で重要な選択肢の一つである。電動アシスト自転車の普及も含め、低炭素社会構築における自転車の位置づけについて、市の考えは。

答 弁 都市整備部

平成19年度から豊田まちづくり株式会社が「みちなびとよた」をはじめ豊田市駅周辺の3箇所13台の一般自転車と6台の電動アシスト自転車を有料で貸し出している。今後は、環境モデル都市アクションプランに基づき、他自治体の状況も参考に、レンタサイクルステーション数の拡充や電動アシスト自転車の積極的な導入を計画しており、電動アシスト自転車の利用の機会を増やすことにより、その普及も促進できると考えている。

神谷和利 自民クラブ

- 本市の債権管理

質問 給食費・保育料等を子ども手当から天引きする制度の創設

給食費、保育料等の未納を無くすため、本市の債権管理条例に明記することによって、現在の未納分について子ども手当との相殺をすることができれば、効率的、効果的である。今後、給食費、保育料等を子ども手当から天引きする制度を創設することはできないか。

答 弁 市民部

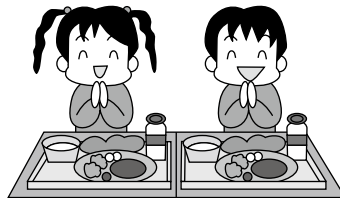
子ども手当の支給に関する法律の条文には、受給権の保護がうたわれており、現在の法体系上は、強制的に未納がある人の手当を充当したり、あらかじめ天引きしたりすることは許されない。本市としては、全国市長会を通じて、法的に未納となっている学校給食費や保育料等を子ども手当から相殺や天引きができるよう法律の改正を国に求め、当時の鳩山総理大臣からも法改正の検討を行う旨の回答を引き出したところであり、今後も粘り強く法整備を求めていく方針である。

佐藤恵子 公明党

- 市出資の協会・公社の今後のあり方
- 子どもの健康を考える取組
- 園庭や校庭の芝生化

質問 食物アレルギー対応給食の拡大と今後の実施体制

アレルギー疾患の児童・生徒への給食対応に関して、食物アレルギー対応給食の拡大と今後の実施体制について、市の考えは。



答 弁 教育委員会

当初の予定では、新東部給食センターの120食分で、全域に提供する計画であったが、今年度の調査結果から、東部のエリアの学校だけで定数をオーバーすることが予想されているため、給食センターの整備計画に合わせて、アレルギー対応可能な施設を整備し、他の地区にも拡大する計画である。また、対象者が非常に少ない地区で

は、現在でも可能な範囲で除去できる食品を除去するなどして対応しており、今後も結果を踏まえながら継続していく。

根本美春 諸 派

- 緊急通報システムの設置拡大
- 子どもを虐待から守る体制の充実

質問 高齢者に対する緊急通報システム設置拡大を求める

緊急通報システムについて、介護認定に関わらず、設置を希望されるひとり暮らしの高齢者と、家族がいても昼間は留守になる昼間独居の方、高齢者世帯で病気や介護が必要な家族がいる高齢者も設置の対象とするよう求めるが、市の見解は。

答 弁 福祉保健部

緊急通報システムは、緊急時に必ず支援が必要となる虚弱なひとり暮らし高齢者を対象としており、当面は対象者の見直しは考えていない。しかし、来年度に第5期高齢者保健福祉計画の策定をする中で、高齢者の支援に関する市民ニーズの把握にも努め、この事業のあり方について検討していきたい。

外山雅崇 諸 派

- グリーン・グリーンふじの丘での塩の河川への放流
- (仮)第2藤岡中用地土壌汚染にかかる和解案
- 通行止めになった公衆用道路の管理責任

質問 COP10の趣旨に反する塩の放流

試験的措置としてグリーン・グリーンふじの丘で平成21年9月28日から平成22年3月15日まで行われていた飯野川への塩放流について、10月に名古屋で開催されるCOP10の趣旨である「あらゆる国が生物多様性の保全に向けた行動」に反していると考えるが、市の見解は。

答 弁 環境部

塩化物イオンについては、水質汚濁防止法等による法令上の規制はない。国土交通省国土技術政策総合研究所の資料で魚類等へ影響する塩化物イオン濃度が示されているが、その中の一例として、ミジンコ類に影響を与える塩化物イオンは350mg/lとされている。今回の試験放流で確認された塩化物イオンの平均値32.7g/lは、10分の1以下の濃度であり、ミジンコ類を初めとする水生生物の生態系に影響を与えるものでなく、生物多様性を脅かす状況ではないと判断する。



○中学生が一般質問を傍聴



▲熱心に一般質問を聞く藤岡中学校の生徒のみなさん

豊田市議会では、わかりやすく開かれた議会を目指して、議会の傍聴や議場の見学の受入れを行っています。9月6日には藤岡中学校3年生の生徒251名が社会科の「公民・政治学習」の一環として市議会を訪れ、この日行われた一般質問をみなさん真剣に傍聴していました。

本会議や委員会の様子は、どなたでも傍聴することができます。市議会について興味のある方は議会事務局（ページ左下参照）までお気軽にお問い合わせください。

○議員研修会で安永川トンネル新設工事現場を見学



▲トンネルの内部で説明を受ける議員

8月9日と8月16日の2日間にわたり、議員研修会として今町地内で掘削中の安永川トンネル新設工事現場の見学を行いました。現在市が進めている安永川都市基盤河川改修事業の重要性を認識しました。

FMラジオで議会情報発信中!『市議会の扉』



豊田市議会では、毎月第4木曜日にエフエムとよた(ラジオ・ラビート)で“議会とは”を紹介するPR番組『市議会の扉』をオンエア中です。毎月1回、テーマに合わせた議員が登場し、パーソナリティからの質問に答えながら議会情報をお届けします。どうぞお楽しみに!

- ◎放送チャンネル
ラジオ・ラビート 78.6MHz
- ◎番組名
市議会の扉
- ◎放送時間
毎月第4木曜日 13:00～13:10
- ◎再放送
翌週日曜日 8:45～8:55

◎今後の放送予定

- 10月28日
『行財政運営検特別委員会の状況』
- 10月31日
『行財政運営検特別委員会の状況』(再放送)
- 11月25日
『低炭素社会推進特別委員会の状況』
- 11月28日
『低炭素社会推進特別委員会の状況』(再放送)

ご意見・ご感想

「市議会だより」について、ご意見・ご感想また、市議会へのご意見・ご要望もお受けしていますので、下記までお寄せください。

【宛先・お問い合わせ】

豊田市議会事務局

〒471-8501 豊田市西町3丁目60番地

TEL.0565-34-6665

FAX.0565-34-6566

Eメール gikai@city.toyota.aichi.jp

★代表・一般質問の様子を視聴できます★



豊田市議会
ホームページで

『市議会だより』のバックナンバーや
詳しい会議録もご覧いただけます。

インターネット録画放送

豊田市議会 検索

<http://www.city.toyota.aichi.jp/fa00/fa01/main.html>
<その他>の「議会中継 録画映像」をクリック!



ケーブルテレビで

ひまわりネットワーク 生中継&録画放送
チャンネル/21ch(アナログ) 121ch(デジタル)



FMラジオで

FMとよた(ラジオ・ラビート)生中継
チャンネル/78.6MHz

12月市議会定例会の予定

12月市議会定例会は
12月3日(金)開会予定です

※この冊子は、折込み「9月市議会定例会号」です。

※このページは裏面になります。
本紙から抜き取ってご覧ください。



豊田市議会は、古紙配合率100%の再生紙と大豆インキ、有害な廃液を一切排出しない水なし印刷方式を採用しています